



profile

昭和12年1月23日生まれ。
自宅で飼っている4匹の猫に
日々癒されています。月浦区
在住。83歳。

Spotlight

スポットライト



月浦獅子舞保存会事務局長

岡崎 進さん

「獅子舞の練習ではうまくまとまった舞ができなくても、本番でまとまった舞ができたときはうれしいです」
獅子舞での達成感を感じる一瞬をうれしそうに話すのは月浦獅子舞保存会事務局長の岡崎進さん。
岡崎さんは洞爺湖町出身で、学校を卒業後、実家を継いで農業に従事してきました。
月浦獅子舞は、1900年に香川県三豊郡神田村の獅子舞を取り入れ、現在まで毎年「月浦八幡神社例大祭」で舞い続けられています。月浦獅子舞保存会は、昭和43年に発足。同年には、旧虻田町文化財の第1号に指定されている歴史があります。
現在まで120年間途絶えることなく月浦獅子舞が舞い続けられていることについて岡崎さんは「郷土芸能として守り受け継がれてきた伝統を絶対に絶やしてはいけないという地域の思いで現在まで

舞い続けられている」と話します。

郷土芸能の伝承は、地域文化の振興、発展だけでなく、地域をまとめていく大きな力にもなります。

しかし、現在は少子高齢化の影響もあり、後継者不足の問題が大きいです。「これからは後継者を探していくのが難しいと思う。自分ができる限りは保存会の役員として、若い世代の中で指導者を育てていかなければいけない」と話します。

「月浦獅子舞保存会で、役員の人々と活動している時間が楽しく、若い世代が育ってくれることが喜びであり、やりがいにつながって、約60年間続けることができました」と現在までの活動を振り返ります。

今後の自身の活動について岡崎さんは「現在活動している若い役員が、今後も月浦獅子舞を盛り上げてもらえるよう体が動く範囲で指導していきたいです」と目を輝かせて語ります。

東奔西走



秋らしい紅葉の景色が洞爺湖湖畔でみられるようになりました。気温もだんだんと寒くなってきたので体調に気を付けましょう。(C.K)

鍋 のおいしい季節となりました。寄せ鍋やもつ鍋、キムチ鍋などいろいろな種類がありますが、北海道といえばやはり鮭と野菜がたくさん入った「石狩鍋」でしょうか。鍋で体を温めて冬に備えましょう。(M.O)

今月のワンショット



虻田高校生による遊覧船ガイド